

令和7年6月

# 今治市議会定例会(第3回)

今 治 市



# 提出案件の概要

1 今議会に提出する案件	23件
(内訳)	
補正予算案	1件
条例案	6件
その他の議案	10件
報告	6件

## 2 補正予算等の概要

今回の補正予算では、3月23日に発生した「令和7年今治市林野火災」への対応に係る経費や、林野火災を踏まえた災害対策の充実・強化のための経費、また一方でインバウンドの受入環境整備による観光振興と多文化共生社会の実現、中心市街地グランドデザインの推進など、直面する課題への対応と瀬戸内の世界都市づくりに向けた所要の予算を計上している。

「令和7年今治市林野火災」への対応においては、被災地域周辺の応急対応や災害対応に要した経費のほか、被災者の生活・事業再建を支援するため、金融機関からの融資に対する利子補給を実施する。また、今回の林野火災の課題等を検証する会議の開催や災害時におけるリアルタイム情報システム導入検証事業など、防災対策の強化に取り組む。

インバウンドの受入環境整備による観光振興においては、HPの多言語化、翻訳機や電子決済の導入などに取り組む市内事業者を支援するほか、世界に誇るナショナルサイクルルートを有する県外2自治体と連携し、プレミアムなインバウンドツアープログラムを造成する。また、大阪・関西万博のパナマショナルデーでは本市伝統芸能の「継獅子」とパナマ伝統舞踊の共演を披露し、本市の魅力を世界に向けて発信する。

多文化共生の実現に向けては、外国人居住者を対象にアンケート調査を実施し、潜在的ニーズの掘り起こしを行い、施策形成の柱とする。

中心市街地グランドデザインの推進については、官民連携による中心市街地まちづくり事業を実施していく上で中心的な役割を担う都市再生協議会の設置や、広小路再編整備に向けた交通量調査、機運醸成のためのシンポジウムを実施するとともに、活性化のための方策検討、まちづくりの仕組みや担い手づくりに取り組むエリアマネジメントを推進する。

このほか、物産・観光分野における興味関心層を相互の分野に誘導する物産・観光プロモーション事業や、東京で本市の魅力的なコンテンツを発信する拠点「×いまばりLab.」(仮称)を開設するなど、新たな需要創出や誘客促進に取り組む。

これらのほか、温浴施設の使用料を改定する条例案、消防の救助工作車の更新にかかる契約議案のほか、令和7年今治市林野火災等に関する専決処分などを提出している。

### (1) 補正予算額

一般会計	529,960千円
特別会計	0千円
合計	529,960千円

### (2) 補正後の予算額及び前年同期比

	令和7年度	令和6年度	比較増減	増減率
一般会計	82,370,860千円	80,488,206千円	1,882,654千円	2.3%
特別会計	40,175,500千円	41,698,900千円	△1,523,400千円	△3.7%
企業会計	17,719,000千円	18,014,200千円	△295,200千円	△1.6%
合計	140,265,360千円	140,201,306千円	64,054千円	0.0%

# 令和7年6月定例市議会提出予定案件

## 補正予算 1 件

		(単位：千円)		
		補正予算額	補正後の額	対前年比
1	令和7年度 今治市一般会計補正予算（第3号）	529,960	82,370,860	2.3%
	合 計	529,960	140,265,360	0.0%

## 条例 6 件

- 今治市土地開発許可等手数料条例の一部を改正する条例制定について [都市政策課]  
愛媛県手数料条例の一部改正に伴い所要の改正をしようとするもの  
施行：公布の日
- 今治市営運動場条例の一部を改正する条例制定について [スポーツ振興課]  
民間公衆浴場との均衡を図るため上浦多々羅スポーツ公園運動場（しまなみドーム）の  
使用料を改定しようとするもの  
一般 420円 ⇒ 560円 (+140円)  
中学生以下 210円 ⇒ 280円 (+70円)  
65歳以上 340円 ⇒ 450円 (+110円)  
施行：令和7年10月1日
- 今治市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する  
条例制定について [介護保険課]  
介護保険法施行規則の改正に伴い、地域包括支援センターの人員配置基準  
について所要の改正を行うもの  
施行：公布の日
- 今治市多目的温泉保養館条例の一部を改正する条例制定について [健康推進課]  
物価高騰により今治市多目的温泉保養館（クアハウス今治）の使用料を  
改定しようとするもの  
一般 大人 730円 ⇒ 780円 (+50円)  
高齢者 520円 ⇒ 560円 (+40円)  
小人 420円 ⇒ 450円 (+30円)  
幼児 260円 ⇒ 280円 (+20円)  
施行：令和7年10月1日
- 今治市鈍川せせらぎ交流館条例の一部を改正する条例制定について [観光課]  
民間公衆浴場との均衡を図るため鈍川せせらぎ交流館の使用料を改定  
しようとするもの  
大人 420円 ⇒ 560円 (+140円)  
小人 210円 ⇒ 280円 (+70円)  
高齢者 340円 ⇒ 450円 (+110円)  
施行：令和7年10月1日
- 今治市大三島海洋温浴館及び農村交流館条例の一部を改正する条例制定について [観光課]  
民間公衆浴場との均衡を図るため大三島海洋温浴館（マーレ・グラッシア大三島）の  
使用料を改定しようとするもの  
大人 520円 ⇒ 700円 (+180円)  
小人 260円 ⇒ 350円 (+90円)  
高齢者 420円 ⇒ 560円 (+140円)  
施行：令和7年10月1日

## その他の議案 10 件

- 1 救助工作車製造請負契約の締結について [消防本部警防課]
  - (1) 契約の目的 救助工作車製造
  - (2) 契約の方法 指名競争入札
  - (3) 購入金額 189,530,000円
  - (4) 契約の相手方 株式会社岩本商会

<参考>

  - ・救助工作車の概要 ディーゼル車 4WD  
オートマチック仕様 高度救助資機材
  - ・納期 令和8年3月31日
  - ・仮契約締結年月日 令和7年4月25日
  
- 2 財産の取得について (ネットワーク関連機器) [未来デジタル課]
  - (1) 品名及び数量 ネットワーク関連機器 一式
  - (2) 購入の目的 耐用年数経過によるネットワーク関連機器の更新
  - (3) 購入方法 指名競争入札
  - (4) 購入金額 184,250,000円
  - (5) 購入の相手方 四国通建株式会社

<参考：仮契約日> 令和7年5月2日
  
- 3 財産の取得について (一般事務用コンピュータ機器) [未来デジタル課]
  - (1) 品名及び数量 一般事務用コンピュータ機器 (モバイルノート型パソコン) (800台)
  - (2) 購入の目的 耐用年数経過による機器の更新
  - (3) 購入方法 指名競争入札
  - (4) 購入金額 69,194,400円
  - (5) 購入の相手方 アカマツ株式会社今治営業所

<参考：仮契約日> 令和7年5月2日
  
- 4 財産の取得について (高規格救急自動車) [消防本部警防課]
  - (1) 品名及び数量 高規格救急自動車 1台
  - (2) 購入の目的 中央消防署東分署に配備の高規格救急自動車の更新
  - (3) 購入方法 指名競争入札
  - (4) 購入金額 43,300,000円
  - (5) 購入の相手方 愛媛トヨタ自動車株式会社 今治店

<参考：仮契約日> 令和7年4月28日
  
- 5 財産の取得について (校務用パソコン) [教育大綱推進課]
  - (1) 品名及び数量 校務用パソコン (小学校308台、中学校177台 計485台)
  - (2) 購入の目的 今治市立小中学校における事務作業環境の整備
  - (3) 購入方法 指名競争入札
  - (4) 購入金額 56,017,500円
  - (5) 購入の相手方 四国通建株式会社

<参考：仮契約日> 令和7年4月25日
  
- 6 財産の取得について (学習用タブレット端末) [教育大綱推進課]
  - (1) 品名及び数量 学習用タブレット端末 9,803台
  - (2) 購入の目的 児童生徒が使用する学習用タブレット端末の更新
  - (3) 購入方法 随意契約
  - (4) 購入金額 517,598,400円
  - (5) 購入の相手方 四国通建株式会社

<参考：仮契約日> 令和7年5月19日

7 今治市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について [市民課]  
令和7年度以降、マイナンバーカードの電子証明書の更新事務件数が大幅に増加することに備え、郵便局でも電子証明書の発行・更新事務を可能とする体制を整備し、窓口の混雑緩和と行政サービスの向上を図るもの。

8 今治市辺地総合整備計画の策定について [地域振興課]  
松尾、田之尻、野々江辺地に係る今治市辺地総合整備計画  
(計画期間 令和7年度～11年度) を策定するもの

9 市道の認定について [用地管理課]  
道路法第8条によるもの  
道路新設改良等に伴う市道認定 (郷八反地7号線など49路線)

10 専決処分について  
地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分し、議会に報告し、承認を求めるもの

(1) 令和6年度今治市一般会計補正予算 (第9号) (令和7年3月31日専決処分) [財政課]  
令和7年今治市林野火災にかかる経費、海事都市今治未来基金積立金及びスポーツ振興基金積立金について、補正予算を編成し、専決処分を行ったもの

補正予算額 288,300千円 (補正後の額 89,099,099千円)

ア 令和7年今治市林野火災の応急対応に要した経費のうち、予算に不足が生じる人件費等に要した経費 [防災危機管理課、福祉政策課、消防総務課、警防課] 32,000千円  
(財源: 県4,000千円)

避難所対応	人件費	3,800千円
	委託料	200千円
常備消防	人件費	20,000千円
	食糧費、燃料費	1,500千円
災害対策対応	人件費	6,500千円

イ 海事都市今治未来基金積立金 [産業振興課] 60,000千円  
(同額寄附金歳入も併せて計上)  
R7.3月補正額 (100,000千円) を超える寄附金 (一般寄附) が生じたことによるもの  
(R7.1月以降 企業8社より160,000千円 ※寄付総額2,160,000千円)

ウ スポーツ振興基金積立金 [スポーツ振興課] 196,300千円  
(同額寄附金歳入も併せて計上)  
R7.2月以降の寄附金 (企業版・個人版ふるさと納税) 受領分  
(2/1～3/31受領分 企業13社165,000千円 個人11名31,245千円)  
【参考】3月先議130,000千円 (R6.10.1～R7.1.31受領分)

(2) 今治市市税条例の一部を改正する条例制定について (令和7年3月31日専決処分) [市民税課]  
地方税法の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの  
(主な改正点)  
○大学生年代の子ども等に関する個人住民税の特別控除の創設 (令和8年1月1日施行)  
・大学生年代 (19歳以上23歳未満) の子どもを扶養する親や親族に関し、被扶養者の合計所得額に応じて3～45万円の所得控除 (特定親族特別控除) を行うもの

○排ガス規制に伴う二輪車の車両区分見直し（令和7年4月1日施行）  
・総排気量125cc以下で最高出力を4.0kw以下に制御したバイク（新基準原付バイク）  
の軽自動車種別割の税率を年額2,000円（現50cc原付と同額）とする。  
（ナンバープレートは白）

○加熱式たばこの課税標準方法の見直し（令和8年4月1日施行）  
・加熱式たばこの課税について、価格要素を廃止し、重量のみに応じて紙巻たば  
こに換算する方式とするほか、軽量化による税負担の不公平が生じないように、  
一定の重量以下のものは紙巻たばこ1本として課税する仕組みに変更

（3）今治市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について（令和7年3月31日専決処分）

[保険年金課]

地方税法施行令の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの

（主な改正点）

- ・国民健康保険税の課税限度額の引き上げ
- ・国民健康保険税の減額の対象となる軽減判定所得の引き上げ

施行：令和7年4月1日

（4）今治市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の  
特例措置に関する条例の一部を改正する条例制定について（令和7年3月31日専決処分） [資産税課]

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第26条の地方公共団体  
等を定める省令の改正に伴い、所要の改正をしようとするもの

- ・適用期限を3年延長するもの（令和7年3月31日から令和10年3月31日へ変更）

施行：令和7年4月1日

（5）令和7年度今治市一般会計補正予算（第1号）（令和7年4月23日専決処分） [財政課]

令和7年今治市林野火災による被災者の生活再建支援など、緊急に措置が必要な経費について  
補正予算を編成し、専決処分を行ったもの

補正予算額 68,900千円（補正後の額 81,368,900千円）

ア 全焼家屋等の解体撤去費用補助金 [資源リサイクル課] 10,000千円

被災者に対する生活再建支援のため、所有する建屋が全焼する被害を受けた世帯に対し、  
解体・撤去にかかる費用を補助するもの

補助率：10/10（上限額：100万円）

イ 事業用建屋等の解体撤去費用補助金 [産業振興課、農林水産課] 21,000千円

被災した事業者の事業再建支援のため、事業用建屋等が全焼する被害を受けた事業主に  
対し、解体、撤去にかかる費用を補助するもの

補助率：10/10（上限額：①事業用施設1,000万円、②農業用施設50万円）

ウ 被服、寝具その他生活必需品の給与又は貸与 [福祉政策課] 200千円

（財源：県200千円）

住宅が全焼したことにより、生活上必要な被服、寝具、その他日用品等を喪失等し、  
直ちに日常生活を営むことが困難な者に対し、生活必需品の給与又は貸与するもの

対象経費 被服、寝具、日用品、炊事用具など

支援上限額 1人世帯 32,800円

4人世帯 69,000円

エ 災害援護資金の貸付 [福祉政策課] 17,500千円  
 (財源：県貸付金17,500千円)  
 対象者 住家が全焼したことにより住宅、家財に被害を受けた者  
 貸付限度額 350万円  
 利率 無利子  
 償還期間 10年(うち据置期間3年)

オ 災害ボランティアセンター運営経費 [福祉政策課] 1,200千円  
 (財源：県1,200千円)  
 市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターの人件費  
 災害ボランティアセンター開設期間 R7.3.28～

カ 林野火災復旧計画書策定業務委託 [農林水産課] 2,000千円  
 現地調査を行い森林火災の被害状況を把握するとともに、学識経験者等の意見を聴取しながら、今後の対策方針を決定するための基礎資料を整理するもの  
 復旧計画書策定一式

キ 消防用ホースの購入 [警防課] 17,000千円  
 消火活動により減耗した消防用ホースについて、緊急時の対応に備え補充するもの  
 65mmホース：@69,850円×190本=1,328万円  
 50mmホース：@60,500円×60本=363万円

(6) 令和7年度今治市一般会計補正予算(第2号)(令和7年5月20日専決処分)[財政課]  
 令和6年度に実施した調整給付(定額減税補足給付金)の給付額に不足が生じる場合に、追加で給付するため、必要な経費について補正予算を編成し、専決処分を行ったもの

補正予算額 472,000千円(補正後の額 81,840,900千円)

ア 定額減税補足給付金不足額給付事業費 [生活支援課] 472,000千円  
 (財源：国 472,000千円)

対象者 ①本来給付すべき所要額と当初調整給付額との間で差額が生じた方  
 ②本人及び扶養親族等として定額減税対象外であり、かつ低所得世帯向け給付の対象世帯の世帯主・世帯員にも該当しなかった方  
 給付額 ①不足する額を1万円単位で切り上げて給付  
 ②1人当たり原則4万円(定額)  
 給付時期 令和7年7月下旬以降(7月初旬に確認書送付)  
 事業費 不足額給付金 440,000千円  
 事務費(郵送料、システム委託料など) 32,000千円

## 報告 6 件

### 1 専決処分について

地方自治法第180条第1項の規定に基づき専決処分し、議会に報告するもの

(1) 損害賠償額の決定及び和解について(令和7年2月20日専決処分)[スポーツ振興課]  
 令和6年11月29日、本市職員が運転する市有貨物自動車が、市道四村宮前線(今治市四村93番2地先)から市道南鳥生五十嵐線に左折しようとしたところ、右側から同市道を直進してきた相手方所有の乗用自動車と衝突し、双方の車両が破損した。

損害賠償額(支払額) 194,770円  
 (受取額) 40,216円

- (2) 損害賠償額の決定及び和解について（令和7年3月4日専決処分）〔資源リサイクル課〕  
 令和6年12月6日、本市職員が運転する市有貨物自動車が、市道御塚町1号線を直進し、市道葎敷通線との交差点に進入したところ、左側から同交差点に進入してきた相手方所有の乗用自動車と衝突し、双方の車両が破損した。  
 損害賠償額（支払額）600,000円  
 （受取額） 33,893円
- (3) 損害賠償額の決定及び和解について（令和7年5月7日専決処分）〔消防本部総務課〕  
 令和7年1月28日、北消防署大三島分署（今治市上浦町井口5286番地）敷地内にあるホース塔につるして乾燥させていた消防用ホースが、風にあおられて同敷地内に駐車していた相手方所有の普通乗用車に当たり、同車両を破損した。  
 損害賠償額（支払額）137,424円
- (4) 損害賠償額の決定及び和解について（令和7年5月7日専決処分）〔消防本部総務課〕  
 令和7年3月25日、令和7年今治市林野火災の消火活動を行っていたところ、充水した消防用ホースが相手方所有の家屋（今治市朝倉北甲633番地36）の窓ガラスに当たり、同窓ガラスを破損した。  
 損害賠償額（支払額）8,000円
- (5) 損害賠償額の決定及び和解について（令和7年5月16日専決処分）〔波方支所〕  
 令和7年3月21日、小部墓地（今治市波方町小部乙117番1）の敷地奥に生えている樹木が折れ、相手方所有の墓石を破損した。  
 損害賠償額（支払額）57,200円

## 2 繰越計算書の提出について

(一般会計)	3,608,259千円
総務費（いまばり暮らし応援券事業費ほか）	381,078千円
民生費（物価高騰対応重点支援給付金給付事業ほか）	433,614千円
衛生費（水道事業会計出資金ほか）	60,800千円
農林水産業費（団体営土地改良事業ほか）	307,892千円
土木費（道路橋りょう補修事業ほか）	1,615,380千円
消防費（常備消防施設整備費）	270,086千円
教育費（公民館整備費ほか）	105,178千円
災害復旧費（農業用施設災害復旧事業ほか）	434,229千円
(港湾事業特別会計)	14,330千円
総務費（荷役機械管理費）	
3 繰越計算書の提出について（水道事業会計）	532,300千円
波止浜地区配水本管整備工事（水管橋）ほかの繰越	
4 繰越計算書の提出について（工業用水道事業会計）	25,265千円
小泉浄水場工水2号沈殿池バルブコントローラー外交換工事の繰越	
5 繰越計算書の提出について（下水道事業会計）	994,700千円
下水道建設事業（公共下水道）ほかの繰越	

## 6 法人の経営状況について

- 一般財団法人 今治文化振興会 [文化振興課]
- 公益財団法人 河野育英会 [教育大綱推進課]
- 公益財団法人 檜垣育英会 [教育大綱推進課]
- 公益財団法人 加根又育英会 [教育大綱推進課]
- 一般財団法人 今治勤労福祉事業団 [観光課]
- 一般財団法人 今治市多目的温泉保養館管理公社 [健康推進課]

## 令和7年6月定例市議会提案主要事業

(単位：千円)  
特 定 財 源

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

<b>[一般会計]</b>	<b>529,960千円</b>			
	※再掲除く			
<b>I 直面する課題への対応</b>	<b>20,562千円</b>			
<b>&lt;令和7年今治市林野火災への対応等&gt;</b>				
◎ 1 被災地域周辺の応急対応経費 [防災危機管理課]	15,000			
被災地域周辺の支障木や土砂の撤去等、二次災害を防止するための対応等経費				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝倉緑ヶ丘団地周辺 支障木伐採</li> <li>・ 郷桜井一の谷水路 土砂撤去 等</li> </ul>				
◎ 2 被災者生活再建支援利子補給金 [市民参画課]	320			
林野火災により被災した世帯が生活再建に係る資金として、金融機関が貸付する災害復旧ローンの利子相当額を市が助成するもの				
<p>対象者 令和7年今治市林野火災の罹災証明のある住家が全焼した一般世帯のうち、金融機関から災害復旧ローンの融資を受ける者</p> <p>対象となる借入限度額 5,000千円</p> <p>対象となる借入期間 10年以内</p> <p>補助率 10/10</p>				
<債務負担行為予算> (令和7年度-令和17年度) 支出予定額1,688千円				
◎ 3 被災事業者再建支援利子補給金 [産業振興課]	1,362			
林野火災により被災した市内中小企業者等が事業再建に係る資金として、金融機関等から融資を受けた場合に、その利子相当額を市が助成するもの				
①災害貸付				
<p>対象者 令和7年今治市林野火災で被災した中小企業者等のうち、金融機関等から災害復旧貸付での融資を受ける者</p> <p>対象となる借入限度額 30,000千円</p> <p>対象となる借入期間 5年以内</p> <p>補助率 10/10</p> <p>対象機関 日本政策金融公庫、中小企業基盤整備機構</p>				
②中小企業資金融資貸付 (市融資制度)				
<p>対象者 令和7年今治市林野火災で被災した中小企業者等のうち、今治市中小企業資金融資制度を利用して融資を受ける者</p> <p>制度区分 中小企業経営安定化資金</p> <p>対象となる借入限度額 10,000千円</p> <p>対象となる借入期間 5年以内</p> <p>補助率 10/10</p> <p>対象機関 市内金融機関</p>				
<債務負担行為予算> (令和7年度-令和12年度) 支出予定額12,844千円				
4 災害対応に要した経費 [防災危機管理課]	1,950	県(10/10)		750
(1) 令和7年4月以降の災害対応業務に従事した職員の人件費 1,200				
(2) 避難所で使用した災害備蓄毛布のクリーニング及び再梱包経費 750				
◎ 5 令和7年今治市林野火災を踏まえた災害対策の充実・強化	1,930			
(1) 大規模災害対応課題等検証会議の開催 [防災危機管理課] 200				
林野火災を経験することで浮き彫りとなった課題等について、外部から招聘する有識者とともに検証等する会議を開催し、大規模災害に向けた備えの充実、強化を図ろうとするもの				
(2) 災害時リアルタイム情報共有システム導入検証事業 1,730				
[防災危機管理課、消防総務課]				
災害発生時に現場の状況を迅速に把握、共有するためのソリューションの導入に向け、その有効性等について調査、検証を行うもの				

[参考]

○ これまでに計上した令和7年今治市林野火災対応関係予算（専決処分）	100,900
（1）全焼家屋等解体撤去費用補助金	10,000
（2）事業用建屋等解体撤去費用補助金	21,000
（3）被服、寝具その他生活必需品の給与又は貸与	200
（4）災害援護資金の貸付	17,500
（5）林野火災復旧計画書策定業務委託	2,000
（6）災害ボランティア運営経費	1,200
（7）消防用ホースの補充	17,000
（8）その他（避難所対応経費等）	32,000
○ 義援金・寄附金（令和7年3月26日－5月26日）	
（1）義援金	52,163
被害を受けた方の生活再建等を支援するため、配分委員会で決定した配分基準に基づき被災者へ直接配分するもの	
（2）支援金	76,082
復旧、復興のために今治市が実施する事業に活用するもの	

Ⅱ 「考動する市役所」がある『まち』に  
＜スマートシティ今治（デジタル化）の推進＞ ※再掲除く

◎ 6 デジタル活用による利便性向上・業務効率化	19,800
罹災証明迅速化ソリューションの導入 [資産税課]	19,800 ※21の再掲

Ⅲ 人が元気になる『まち』に ～ひとりひとりが輝く今治の創出～  
＜共生社会の充実＞ 2,600千円

◎ 7 共に生きる社会づくり事業 [市民参画課]	2,600
多文化共生社会の実現に向けたアンケート調査	2,600
誰もが住み続けたい「輝くまち」を実現するために、外国人居住者を対象にアンケートを実施し、潜在的ニーズの掘り起し等をしようとするもの	
対象者：3,300人程度（うち外国人労働者2,500人、それ以外の外国人居住者800人）	
実施方法：（外国人労働者）所属会社や監理団体を訪問し、実施 （上記以外の外国人居住者）郵送により実施	

Ⅳ 産業に活力を与える『まち』に 43,748千円  
～瀬戸内クロスポイント構想のさらなる推進～  
＜i. i. imabari!のパワーアップ＞

◎ 8 「×いまばりLab.」（仮称）の開設及び企画運営 [i. i. imabari!推進課]	8,500	国(1/2)	4,250
期間限定で東京に本市の魅力的なコンテンツを発信する拠点を開設し、首都圏における訴求力・営業力などを高めることで、更なる「今治ファン」の獲得に繋げようとするもの			
場所・時期（予定）7月：渋谷サクラステージ、11月：未定			
事業内容	①魅力的なコンテンツの紹介（地場産品、企業、観光、移住情報など） ②地元企業のPRイベントの開催 ③バイヤー・百貨店への商品案内及び商談会の開催 ④市内企業と首都圏及び周辺地域の企業とのコラボ商品の企画・開発 ⑤いまばりの集いなどの機会を捉えた新たな地場産品の紹介		

＜新・今治のみなとづくり・まちづくり＞

◎ 9 愛媛大学海事産業コース創設機運醸成シンポジウム [海事都市今治推進課]	1,000
令和8年度から愛媛大学工学部に海事産業特別コースが創設されるのを受けて、機運を醸成するためのシンポジウムを開催するもの	

<強い農・林・水産業づくりの推進>

◎ 10 野菜広域選果施設整備支援事業 [農林水産課]	9,654		
県内の野菜の広域選果及び物流体制の再編のために行われる新たな広域選果集出荷施設の整備を支援することで、市内生産者の負担軽減と持続可能な生産体制の維持を図るもの			
実施主体	愛媛野菜広域事業コンソーシアム		
実施場所	伊予郡松前町鶴吉地区		
機能	①広域選果場機能(とまと・なす・きゅうり) ②県域販売センター設置による一元分荷、出荷、配車等の物流体制機能		
利用団体	6JA(おちいまばり、松山市、えひめ中央、愛媛たいき、ひがしうわ、えひめ南)		
補助率	国1/2、県1/10、市町1/10(※) ※各市町の負担割合は、過去3ヶ年の出荷等実績を基に算出		
対象市町	13市町(今治市、東温市、松山市、松前町、砥部町、伊予市、内子町、大洲市、西予市、宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町)		

11 有機野菜等面積拡大支援事業費補助金 [農林水産課]	320	県(事業費×1/3)	214
有機農業の取組面積の拡大等を図ることを目的として、市内有機農家を対象に、省力化や面積拡大に資する農業機械の導入を支援しようとするもの			
実施主体	市内有機農家(2名)		
事業内容	じゃがいも掘り機1台、背負い式草刈機1台		
事業費	643千円		
助成額	320千円(県214千円、市106千円)		

<「住み続けられる」魅力あるまちづくり>

◎ 12 物産観光プロモーション促進事業 [観光課、i.i.imabari!推進課]	21,274	国(1/2)	10,537
物産・観光分野における興味関心層を相互の分野に誘導するプロジェクトなどを実施するとともに、マーケティングデータを分析・活用し、新たな需要創出や誘客促進に取り組むもの			
《事業内容》			
①物販・観光に係るECサイト上に特設ページをそれぞれ開設し、本市の魅力やコンテンツをPR			
②物産観光消費のクロスユース(相互利用)誘発キャンペーンを実施			
・宿泊者 ⇒ 物産購入に係るインセンティブ付与 ⇒ 本市特産品の購買意欲を高める			
・物産購入者 ⇒ 宿泊に係るインセンティブ付与 ⇒ 本市への誘客			
③アンケート調査による消費者の行動特性・ニーズの把握・分析			
④購買データに基づく地場製品の販売戦略の検討			
⑤宿泊施設の現場改善のための専門家による伴走支援			

◎ 13 インバウンド受入体制支援整備事業 [観光課]	3,000		
インバウンド受入環境の整備に取り組む市内事業者を支援することで、本市を訪れる外国人観光客等の利便性や快適性の向上を図り、誘客促進や多文化共生社会の実現に向けた環境整備を促進しようとするもの			
補助対象者	市内飲食店、宿泊施設、観光関連施設		
補助率	1/2(1件につき上限150千円)		
補助対象経費	①自社ホームページ等の多言語化表記に係る費用 ②翻訳機や電子決済機器の導入費用(運用費用は除く) ③Googleビジネスプロフィール等登録代行料 ④無料公衆無線LAN環境の整備費用 ⑤ハラル、ビーガン対応費用		

V 輝く『まち』に～「今治時間」のあるまちへ～ 358,616千円

<「瀬戸内の世界都市」づくり>

14 魅力都市創生事業 [魅力都市創生課] 10,500

◎ (1) 都市再生協議会の設置 600  
官民連携による中心市街地まちづくりを推進するために、公共公益施設の整備等に関する計画の作成やプロジェクトの事業化に向けた調整、関係者間の合意形成など、事業を実施していく上で中核的な役割を担う協議会を設置しようとするもの

◎ (2) 広小路再編整備に向けた交通量調査 1,300  
県市連携による広小路(県道今治港線)の街路空間の再構築に向けた検討に必要な基礎データを取得するため、交通量調査を実施しようとするもの

◎ (3) まちづくりシンポジウムの開催 3,000  
中心市街地グランドデザインの周知や、今後推進していくまちづくりに対する機運の醸成を図ることを目的として、シンポジウムを開催しようとするもの

ア コンパクトで人にやさしいまちづくり(仮題)  
『健康・医療・福祉都市づくり』に向けた専門家による基調講演及びパネルディスカッションの実施

イ WALKABLE PORT CITYの実現に向けて(仮題)  
ウォークアブルシティ(「人中心」の公共空間への転換)の専門家による基調講演及びパネルディスカッションの実施

◎ (4) エリアマネジメントの推進 5,600  
国の地域力創造アドバイザー制度を活用して招聘する外部専門家の助言や指導を受けながら、中心市街地の持続的な賑わい創出と交流促進に向けて、エリア活性化のための方策検討のほか、民間主体のまちづくりを推進する仕組みやその担い手づくりに取り組むもの

- 事業内容
- ①エリア活性化に向けた方策の検討
  - ②エリアマネジメントの仕組みと事業内容に関する検討
  - ③関係機関の連携・役割分担・活動統治に関する検討
  - ④エリアマネジメント組織の設立と担い手に関する検討

15 公共道路改良事業 [道路課・用地管理課] 41,000

社会資本整備総合交付金の内示に伴う事業費の補正

事業概要

(1) 高地延喜線(阿方工区)  
道路改良工事 L=100.0m 10,000

(2) 今治駅高橋線(小泉工区)  
用地購入 一式 31,000

国(1/2) 18,500  
市債 16,600

<アート&カルチャー&スポーツで夢中になれるまちづくり>

◎ 16 サンライズ糸山エリア一体的利用に向けたアドバイザー業務 [サイクルシティ推進課]  
サンライズ糸山及び周辺市有地の一体的利用に向けた方策検討を進めるにあたり、専門家等によるサポート体制を構築しようとするもの

<債務負担行為予算>6,270千円(R7年度～R8年度)

◎ 17	ナショナルサイクルルートを活用したプレミアムインバウンドツアー造成事業 [サイクルシティ推進課] 世界に誇るナショナルサイクルルート（NCR）を有する県外2自治体と連携し、各NCRを巡るプレミアムなインバウンドツアープログラムの造成に取り組むことで、しまなみ海道と地域資源の更なるブランド力向上を図ろうとするもの  総事業費 16,200千円（内、今治市分5,400千円） 実施主体 第1次NCRサイクルツーリズム推進協議会 連携自治体 今治市（しまなみ海道サイクリングロード） 茨城県土浦市（つくば霞ヶ浦りんりんロード） 滋賀県守山市（ビワイチ）	5,400	諸収入	4,330
◎ 18	万博パナマナショナルデー交流事業 [観光課] 大阪・関西万博のパナマナショナルデーにおいて、今治・パナマの伝統芸能を披露し、姉妹都市であるパナマ市との友好関係の促進を図るとともに、本市伝統芸能の魅力を世界に向けて発信しようとするもの  事業内容 万博ナショナルデー（9月6日）においてパナマブースで「継獅子」とパナマ伝統舞踊の共演	1,715		
19	しまなみアートミュージアム魅力発信事業 [文化振興課] 村上海賊PRキャラクター等を活用した多角的なプロモーションを展開することで、しまなみ海道沿線に点在する文化施設への関心を高め、交流人口の拡大・地域経済の活性化に繋げようとするもの  事業内容 ①村上海賊PRキャラクターを活用したプロモーション展開 ②インフルエンサー等を活用した映像制作等	8,010	国(1/2)	4,005
20	FC今治サッカー専用スタジアム建設事業費補助金（ふるさと納税制度活用事業） [スポーツ振興課]  ふるさと納税制度を活用した、今治市「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクトに基づき、スタジアム建設事業（約40億円）に要した費用の一部を助成しようとするもの  事業主体 (株)今治・夢ビレッジ 事業内容 FC今治サッカー専用スタジアム建設事業に要するものとして事業主体が建設業者に支払った経費の一部を助成 補助金累積額 951,493千円（R2～R6年度におけるふるさと納税寄附を活用）	291,991	基金繰入金	291,991
VI	しやなかで強靱な『まち』に ＜安全・安心なまちづくり＞	74,434千円		
				※再掲除く
◎ 21	罹災証明迅速化ソリューションの導入 [資産税課] 南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、住家の被害認定調査支援システムを県内他市町と共同して構築することで、被災後に必要となる罹災証明書の発行に要する時間の大幅な短縮を図ろうとするもの  事業費（システム構築） 143,429千円（内、今治市分：19,800千円） 参加自治体 今治市、松山市、八幡浜市、新居浜市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、久万高原町、砥部町、内子町、伊方町	19,800	国(2/3)	13,200
◎ 22	大規模災害対応課題等検証会議の開催 [防災危機管理課]	200		※5の再掲
◎ 23	災害時リアルタイム情報共有システム導入検証事業 [防災危機管理課、消防総務課]	1,730		※5の再掲

(単位：千円)

◎新規施策 ○準新規施策 ☆拡充施策 ※再掲あり

特 定 財 源

<b>24 県営土地改良事業費〔農業土木課〕</b>	9,634	市債	1,800
県営土地改良事業（歌仙地区）の期間延長に伴う事業費の補正			
①基幹水利ストックマネジメント事業委託料	5,884		
②基幹水利ストックマネジメント事業負担金	3,750		
<b>25 農業用施設管理費〔農業土木課〕</b>	45,000	市債	45,000
歌仙ダムに堆積した土砂の浚渫により有効貯水量及び洪水調節機能を確保すること とで下流域の氾濫被害リスクを軽減しようとするもの			
事業概要：歌仙ダム浚渫工事 一式			
<b>VII その他</b>	<b>30,000千円</b>		
<b>26 健康管理費〔学校教育課〕</b>	30,000	諸収入	30,000
日本スポーツ振興センター共済給付金を遺族へ給付しようとするもの			

各 会 計 別 予 算 額

(単位:千円)

会計名	年 度	令和7年度			令和6年度			増減額 (C)=(A)-(B)	増減率(%) (C)/(B)	備 考
		補正前	6月補正額	合計(A)	補正前	6月補正額	合計(B)			
一般会計		81,840,900	529,960	82,370,860	79,404,000	1,084,206	80,488,206	1,882,654	2.3	
特別会計		40,175,500	0	40,175,500	41,698,900	0	41,698,900	△ 1,523,400	△ 3.7	
用地取得		1,000	0	1,000	1,000	0	1,000	0	0.0	
墓園事業		51,700	0	51,700	50,000	0	50,000	1,700	3.4	
船舶交通		272,500	0	272,500	262,300	0	262,300	10,200	3.9	
港湾事業		444,000	0	444,000	333,000	0	333,000	111,000	33.3	
鉱泉供給事業		11,800	0	11,800	12,000	0	12,000	△ 200	△ 1.7	
駐車場		11,500	0	11,500	11,600	0	11,600	△ 100	△ 0.9	
国民健康保険		17,059,000	0	17,059,000	17,651,000	0	17,651,000	△ 592,000	△ 3.4	
後期高齢者医療		3,224,000	0	3,224,000	3,199,000	0	3,199,000	25,000	0.8	
介護保険		19,100,000	0	19,100,000	20,179,000	0	20,179,000	△ 1,079,000	△ 5.3	
計		122,016,400	529,960	122,546,360	121,102,900	1,084,206	122,187,106	359,254	0.3	
企業会計		17,719,000	0	17,719,000	18,014,200	0	18,014,200	△ 295,200	△ 1.6	
水道事業会計		6,832,000	0	6,832,000	6,890,000	0	6,890,000	△ 58,000	△ 0.8	
簡易水道事業会計		153,600	0	153,600	142,600	0	142,600	11,000	7.7	
工業用水道事業会計		377,400	0	377,400	365,600	0	365,600	11,800	3.2	
下水道事業会計		10,356,000	0	10,356,000	10,616,000	0	10,616,000	△ 260,000	△ 2.4	
合 計		139,735,400	529,960	140,265,360	139,117,100	1,084,206	140,201,306	64,054	0.0	

## 令和7年 第3回今治市議会定例会会議日程

月	日	曜	区 分	日 程
6	17	火	本会議	議案説明
	18	水	休会	
	19	木	本会議	代表質問、質疑
	20	金	本会議	一般質問
	21	土	休会	
	22	日	休会	
	23	月	本会議	一般質問
	24	火	委員会	委員会審査（予算特別委員会）
	25	水	委員会	委員会審査（総務委員会）
	26	木	委員会	委員会審査（教育厚生委員会）
	27	金	委員会	委員会審査（産業環境委員会）
	28	土	休会	
	29	日	休会	
7	30	月	委員会	委員会審査（建設水道委員会）
	1	火	委員会	委員会審査（特別委員会）
	2	水	休会	
	3	木	休会	
	4	金	本会議	委員長報告、質疑、討論、表決

会期18日間

{	本会議 5日
	委員会 6日
	休 会 7日